

## 歐氏管通氣法ノ一改法

岡山縣病院耳鼻咽喉科助手

岡山醫學士

吉田 千 東

歐氏管通氣法ニ際シテ現今一般ニ應用セラル、ハ、ポリッヂェル氏法及「カテーテル」挿入法ニシテ、兩者トモ各其特長ヲ有シ、症例ニ應ジテ各其適用ヲ見ルモノナレドモ、余ハ熟練セルモノニ在ツテハ其患者ガ大人ナル以上ハ、「カテーテル」挿入法ノ診斷的及治療的方面ニ於テ、前者ヨリ遙カニ的確ナルヲ信ズルモノナリ。

而シテ此「カテーテル」挿入後ノ送氣装置トシテ、或ハ壓搾空氣ヲ用ヒ、又ハツアウファル氏鞞、ミンク氏水流鞞等ノ應用セラル、コトアレドモ、其装置簡便ニシテ且一般ニ用ヒラレツ、アルハ、之ニルーツェ氏二連球ヲ連結シ、又ハポリッヂェル氏球ヲ接セシメテ送氣スルノ法ニシテ、就中最モ實用的ナルハ、二連球ナリトス。

ルーツェ氏ハ其長所ヲ述ベテ、

- (一) 持續的ニシテ殆ド完全ニ同量ノ氣流ヲ壓出ス
- (二) 操作ハ全ク勞力ヲ要セズ
- (三) 萎縮セル鼓膜ヲ破裂セシムル危險ハ他器ニ比シテ少シ
- (四) ポリッヂェル氏法ハ本球ニヨツテポリッヂェル氏法ノ際ニ用フル器械ヲ以テスルヨリモ、遙カニ確實ニ且柔和ニ行ハル
- (五) 携帶ニ便ニシテ價格低廉ナリ

等ト爲セリ。但シ余ハ此等記載セラレタル長所ナルモノニ就テ、多少ノ意見ヲ有スルモ大體ニ於テ此二連球ハ、吾人ノ臨牀ニ於テ日常缺グ可カラザル一器具ニ屬ス。

吉田一歐氏管通氣法ノ一改法

サレド歐氏管ノ狹窄ノ少シク進行セル際ニハ、此二連球ヲ用ヒテ強ク空氣ヲ送ルモ、容易ニ通氣ノ目的ヲ達スルコト能ハザルコト屢ナリ。

而シテ此際ニハルーツ氏二連球ニテ生ズル壓力ヨリモ尙ホ強大ナル氣壓ヲ必要トスルモノニシテ、此目的ニ向ツテ予等ハ從來次ノ方法ヲ使用セリ。即チ

(一)「カテーテル」ノ末端ニポリツェル氏球ノ嘴端ヲ適合セシメ強ク同球ヲ壓迫ス

(二)ルーツ氏二連球ノ甲球ヲ數回壓迫シタル後、網ニテ圍ミタル乙球ヲ急ニ強ク壓迫スルカ、乙球ト「カテーテル」末端トヲ連結スル「ゴム」管ノ一部ヲ指ニテ壓シ、甲球ヲ數回壓迫シタル後急ニ指ヲ放ツ等ナリ。

此等ノ中第二法ハ畢竟予等ノ窮餘ノ一策ニ外ナラズ。元來二連球ノ乙球ハ菲薄ニシテ、強キ抵抗ニ堪ヘザレバ如斯操作ノ際ニ破裂スル恐アリテ、如斯目的ニ適フモノニ非ズ。時ニ其利用ヲ見ルコトアレドモ之ヲ一般ニ獎ムベキモノニ非ザルナリ。

反之此中第一ノ「カテーテル」末端ニポリツェル氏球ノ嘴端ヲ適合セシメ強ク同球ヲ壓迫スル法ハ最モ有效ニシテ、既ニ先人ニヨツテ賞用セラレ予等モ亦從來應用シ來リタルモノナルモ、唯遺憾ナルハ此球ヲ壓縮スル際ニ起ル突擊狀ノ衝動ハ餘程注意セザレバ「カテーテル」ヲ傳ツテ、強ク歐氏管咽頭口ニ器械的刺戟ヲ與へ、患者ニ苦痛或ハ少クトモ不快ノ念ヲ起サシムルノミナラズ、球ヲ只一回壓搾セル後ニ之ヲ「カテーテル」ヨリ離シテ再ビ空氣ヲ滿シ、更ニ「カテーテル」ニ適合セシメテ壓搾通氣ヲ試ミ、再三之ヲ反覆スルモノニシテ、此間ノ操作ニ圓滑ヲ缺クノミナラズ、通氣ハ斷續的ニシテ連續的ナラザル等ノ缺點アリ。但シ此突擊狀刺戟ハアメリカノ専門家ノ賞用スルガ如ク、此ポリツェル氏球ニ「ゴム」管ヲ附シ、之ヲ「カテーテル」ニ連結スルコトニヨリテ避ケ得ベシト雖モ此際ニ於テモ通氣ヲ反覆セントセバ、其都度「カテーテル」ト「ゴム」管トノ連結ヲ離サバ爾可カラザルノ煩ヲ見ル。

此等ノ缺點ニ鑑ミ、余ハ本春來次ニ記ス如キ裝置ヲ按ジ之ヲ實際ニ應用シテ頗ル適切ナル利用ヲ見、現今ニ於テ

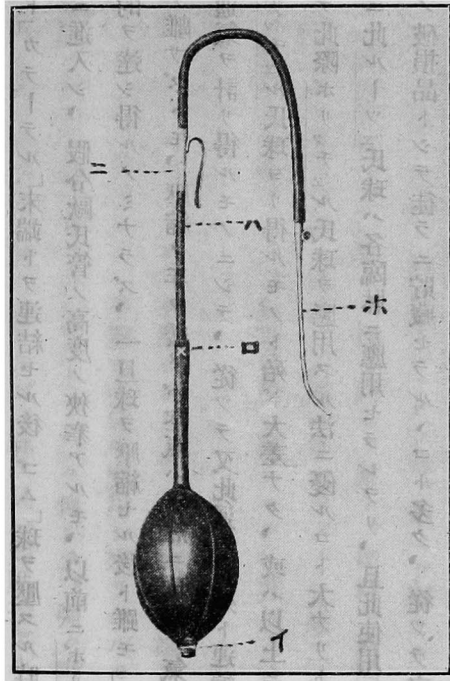
ハ我臨牀ニ於テ又缺グ可カラザル一器具トナレリ。次ニ此装置及使用方法竝ニ其利點ヲ説明セン。

其要點ハ從來「カテーテル」挿入法ノ後ポリッachel氏球ヲ用ヒテ、強ク通氣セント試ミシ如キ場合ニ此ポリッachel氏球ノ代リニ圖ノ如ク、ルーツ氏ニ連球ノ乙球ヲ除キ此乙球ニ屬セル瓣ヲ甲球ノ先端中(圖中「ロ」ノ部)ニ收メ、之ヨリ長サ約四〇糎ノ「ゴム」管ヲ附セルモノヲ使用スルナリ。

但シ先ヅ余ハ通例初メルーツ氏ニ連球ヲ應用シテ通氣法ヲ試ミ、之ガ不充分ナル時ニ本器ヲ選ブモノニシテ此際「ゴム」管ト「カテーテル」末端トヲ連結セル後「ゴム」球ヲ壓スル時ハ任意ニ加減サレタル壓力ヲ以テ、空氣ハ「カテーテル」内ニ進入シ、假令歐氏管ノ高度ノ狹窄アルモ、以前ニポリッachel氏球ヲ用ヒタル場合ノ如ク、之ニ打勝ツテ通氣ノ目的ヲ達シ得ルノミナラズ、一旦球ヲ壓縮セル後ト雖モ「ロ」ノ部ノ瓣ノ作用ニヨツテ、「ゴム」管ヲ「カテーテル」ヨリ離サズトモ、壓縮ノ手ヲ緩メバ空氣ハ自然ニ球底ノ氣孔(圖中「イ」ノ部)ヨリ進入シテ球ヲ充シ、更ニ之ヲ壓シテ通氣ヲ計リ得ルモノニシテ、從ツテ又此通氣ハ殆ド連續的ナルノミナラズ、此「ゴム」球ヨリ生ゼシメ得ル壓力ハポリッachel氏球ヨリ得ルモノト殆ド大差ナク、或ハ以上ニシテ且又此壓力ヲ任意ニ加減シ易ク、從ツテ凡テノ點ニ於テ此際ポリッachel氏球ヲ應用スル法ニ優ルコト大ナリト信ズ。

加フルニ此ルーツ氏球ハ各臨牀ニ應用セラレヲリ、且此使用ニ際シ破損スルハ概ネ菲薄ナル乙球ナルガ故ニ、甲球ハ無用ノ破損品トシテ徒ラニ貯藏セラル、コト多ク、從ツテ之ヲ利用シテ優越セル效果ヲ見ルハ實ニ有意義ナル廢物利用ナリト云ハザル可カラズ。

此處ニ餘白ヲ借リ公ニシテ以テ同好ノ士ノ御參考ニ資セントスル所以ナリ。



附圖説明

- 「イ」 球底ノ氣孔
- 「ロ」 瓣
- 「ハ」 「ゴム」管
- 「ニ」 鉤ヲ有スル金屬小管
- 「ホ」 歐氏管「カテーテル」